

立野ダム建設事業における 環境保全への取り組み

平成30年7月

国土交通省九州地方整備局
立野ダム工事事務所

はじめに

立野ダムは、環境影響評価法^{*1}（法アセス）施行以前の昭和 58 年に建設事業に着手しており、環境影響評価法（法アセス）対象外の事業となりますが、建設予定地周辺には、「阿蘇くじゅう国立公園」や国の天然記念物に指定されている「阿蘇北向谷原始林」が位置するなど豊かな自然環境が存在します。さらに、近年には立野峡谷を含む阿蘇ユネスコジオパークとして世界ジオパークネットワークへの加盟が認定されるなど、魅力ある自然環境・自然地形が広がっています。このような周辺環境への影響をできるだけ回避・低減することを目的として、環境影響評価法（法アセス）の技術的内容に準じた周辺環境への影響及び環境保全措置の検討を適切に実施するため、調査、予測、環境保全措置の検討及び評価について学識者等による専門家の指導・助言をいただきながら、事業を実施していきます。

本書^{*2}「立野ダム建設事業における環境保全への取り組み」は、これまでの調査、予測、環境保全措置の検討及び評価について、立野ダム建設事業における環境影響を総合的に評価し、取りまとめたものです。

なお、立野ダム建設予定地周辺においては、平成 28 年熊本地震の発生に伴う斜面崩壊等により、これまで生育していた植物や植生等の消失が確認されるなど、周辺の自然環境・社会環境の変化が発生しましたが、これまでのさまざまな自然現象による悠久の周辺地域の変遷を踏まえ、豊かな自然環境の遷移による再生に資すること等に鑑み、熊本地震後の状況を踏まえた影響予測や環境保全措置の検討等を第 7 章^{*3}に取りまとめています（熊本地震等による環境変化の影響を区別するため、章を分けて取りまとめました）。

また、本書においては、希少動植物保全の観点から、動植物の生息・生育位置の特定につながる情報の掲載は差し控えています。

*1 環境影響評価法とは：土地の形状の変更、工作物の新設等の事業の実施にあたり、その事業の実施が環境に及ぼす影響について、調査、予測及び評価を行うとともに、その事業に係る環境の保全のための措置を検討し、この措置が講じられた場合における環境影響を総合的に評価することをいいます。わが国における環境影響評価手続きは、昭和 59 年に閣議決定された「環境影響評価実施要綱」に基づき実施されてきました。平成 9 年 6 月には環境影響評価法が公布され、平成 11 年 6 月から同法が施行されました。

*2 本書は、平成 27 年度までの調査結果を基に取りまとめています。

*3 「7 平成 28 年熊本地震後の状況について」については、平成 29 年 10 月までの調査結果を基に取りまとめています。

目次

はじめに

1	立野ダム建設事業の経緯	1-1
2	立野ダム建設事業の位置、目的、内容及び環境影響検討の流れ	2-1
2.1	立野ダムの位置及び流域の概要	2-1
2.2	立野ダム建設事業の目的	2-3
2.3	立野ダム建設事業の内容	2-4
2.4	環境影響検討の流れ	2-9
3	立野ダム周辺の概況	3-1
3.1	地域の自然的状況	3-1
3.2	地域の社会的状況	3-5
4	調査、予測及び評価の項目	4-1
4.1	項目の選定	4-1
4.2	項目の選定理由	4-2
5	環境保全への取り組み	5.1-1
5.1	大気質	5.1-1
5.2	騒音	5.2-1
5.3	振動	5.3-1
5.4	水環境（水質）	5.4-1
5.5	地形及び地質	5.5-1
5.6	動物（重要な種及び注目すべき生息地）	5.6-1
5.7	植物（重要な種及び群落）	5.7-1
5.8	生態系（地域を特徴づける生態系）	5.8-1
5.9	景観（主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観）	5.9-1
5.10	人と自然との触れ合いの活動の場 （主要な人と自然との触れ合いの活動の場）	5.10-1
5.11	廃棄物等（建設工事に伴う副産物）	5.11-1
5.12	環境保全措置（まとめ）	5.12-1
6	これまでの環境保全の取り組み	6-1
6.1	委員会等	6-1
6.2	これまでに実施している環境保全措置及び環境配慮事項の 取り組み	6-3
7	平成28年熊本地震後の状況について	7-1
7.1	熊本地震後の環境影響検討について	7-1
7.2	水環境（水質）	7-6
7.3	地形及び地質	7-12
7.4	動物（重要な種及び注目すべき生息地）	7-17
7.5	植物（重要な種及び群落）	7-20
7.6	生態系（地域を特徴づける生態系）	7-22
7.7	景観（主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観）	7-25
7.8	人と自然との触れ合いの活動の場 （主要な人と自然との触れ合いの活動の場）	7-31
7.9	平成28年熊本地震後の環境保全措置（まとめ）	7-34
7.10	熊本地震後の環境保全の取り組み	7-43

おわりに